

## 議事録

**会議名** 令和7年度 第4回運営推進会議  
**開催日** 令和7年11月26日  
**開催時間** 9:30～10:30  
**開催場所** 2階 地域交流室  
**出席者**  
**運営推進委員** 木村 厚様 (梶原学区社会福祉協議会 会長)  
 棚橋 和代様 (梶原学区民生児童委員協議会 会長)  
 野原 孝彦様 (西京区社会福祉協議会 事務局長)  
 濱野 知子様 (高齢サポート西京南部 主任介護支援専門員)  
**近隣事業所** 大橋るみ子様 (グループホームラポールしらかば 主任)  
 藤田 知子様 (アサヒケアサービス株式会社 代表取締役)  
**利用者代表** A 様 (小規模多機能かたぎはら)  
**利用者家族代表** B 様 (小規模多機能かたぎはら)  
**法人代表** 齋藤 忠彦 (施設福祉推進室 担当室長)  
**職員** 柿迫 稔夫 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら施設長)  
 岩崎 由香里 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら副施設長)

**議題**

**利用状況報告** 利用状況報告 R7.10月末現在

**【小規模多機能かたぎはら】**

9月実績 登録19名 実利用19名

介護度	申請中	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
男性	0名	0名	1名	1名	2名	0名	1名
女性	0名	1名	5名	7名	1名	0名	0名

利用回数

訪問 546回	通い:延べ 262回	泊り:延べ 45回
---------	------------	-----------

10月実績 登録 21名 実利用21名

介護度	申請中	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
男性	0名	0名	1名	2名	2名	1名	1名
女性	0名	1名	5名	7名	1名	0名	0名

利用回数

訪問:延べ 599回	通い:延べ 287回	泊り:延べ 41回
------------	------------	-----------

連泊者 0名 過少サービス(週4回未満の利用者) なし

**【グループホームかたぎはら】 R7.11月1日現在**

入居者数 18名(男性1名・女性17名)

介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0名	0名	1名	0名	0名	0名
女性	0名	2名	4名	7名	2名	2名

活動報告

活動報告 R7.9-10月 別紙参照(広報誌参照)

【小規模】

- ① 敬老会
- ② ダンスステージin京都劇場
- ③ 誕生日会
- ④ かたピー塗り絵(地域交流)
- ⑤ 運動会
- ⑥ 交換研修受入
- ⑦ チームオレンジ見本市

【GH】

- ① 公園体操
- ② 桂川園訪問(入居者面会)
- ③ 敬老会
- ④ シオンカフェ
- ⑤ ダンスステージin京都劇場
- ⑥ 京都中央看護保健大学校 認知症サポーター講座
- ⑦ かたピー塗り絵(地域交流)
- ⑧ お月見
- ⑨ 運動会
- ⑩ チームオレンジ見本市

広報誌等で説明させていただいた。

事故報告

事故・ヒヤリ・苦情報告

【小規模多機能かたぎはら】

	事故	ヒヤリ	苦情
9月	4件	2件	0件
10月	3件	6件	0件

【事故】 転倒1件 服薬関連1件 負傷1件 食事関連2件 車両関連2件

9、10月度における事故報告件数は計7件でした。抜粋し報告いたします。  
転倒事故については、当日が初回の通い利用の方で、職員間においてもご本人のADLの把握や、支援内容の見極めなどが不十分であったことが原因でした。転倒後にお身体の確認をさせていただきましたが、転倒による負傷はなく、バイタル値も特変ありませんでした。ミーティングにて事故当時の状況や動作、支援時の注意点を共有しご本人に適した支援内容を引き続き協議してまいります。  
食事関連の事故報告についての1件は、調理後に検食を保存していなかったケースです。本来、職員が調理した料理については検食袋に入れて2週間保管するべきものでありましたが、当日は保管するのを忘れ、料理も残量が無かったため保管できませんでした。幸いにも以降に利用者様内において体調不良などの報告はありませんでした。対策として最初に調理が完了した料理については速やかに検食分を確保し保管することを徹底することを周知しています。  
車両関連における1件は送迎業務の終了後に車内灯を消し忘れたケースです。業務終了後に車中を確認するために車内灯を点け、確認後に消し忘れたのが原因です。バッテリーが上がってしまい、翌日以降の業務に支障を及ぼす恐れがあり報告書をあげております。改めて運転業務を担当する職員は、送迎業務終了後に車内灯の確認をはじめ、ライトや窓、施錠の確認を徹底するようにアナウンスしています。

**【ヒヤリ】 物損関連1件 食事関連1件 離設1件 服薬関連3件  
食事関連2件 車両関連2件**

9、10月度におけるヒヤリハット報告件数は計8件でした。抜粋し報告いたします。  
支援漏れのリスクのケースについては、当日は訪問利用であったが通い利用として遂行表に記入されていたケースです。送迎職員による指摘と確認で支援誤りには繋がりがありませんでしたが、状況によっては安否確認の漏れや信用問題に繋がる恐れもあり報告させていただきました。原因は前週の遂行表が修正されないままになっており、遂行表を確認する作成者、前日のフロア担当職員、前日の夜勤職員への確認の徹底を周知しています。また、泊り利用日についての家人様と施設側の認識違いや、内服薬持参が誤っているケースも複数確認されているため、確認方法の見直しや家人様への繰り返しの確認をおこなうなど、支援内容についても継続した協議をおこなっています。  
離設に繋がりがかけたケースについては、当日の通い時において当館への送りは家人様がおこなうことになっていましたが、本人が下車したあとインターホンを押すなどの報告もなく置き去りになり行方不明につながる恐れもあったケースです。偶然に施設玄関にいた職員が見つけたこともあり大事には至りませんでした。来館当時、ご本人はどうしてここにいるのか大きく混乱されていましたが、フロア内に案内し少しずつ落ち着きを取り戻されました。家人様へは今後は到着時に知らせていただくよう依頼し、職員においても当日の状況がどうであったか詳細な記録を残すように周知しています。  
物損につながりかけたリスクについては、泊まり利用者の衣服の洗濯方法の見落としによるケースです。数日の泊まり利用をされている利用者様の衣服は洗濯をおこなっていますが、ご本人が着用されていたブラウスが本来は手洗い推奨であるにもかかわらず洗濯機で洗濯されていました。表示ラベル確認後に衣服の確認をしましたが損傷はありませんでした。対策として洗濯機の横にラベル表示の意味がわかる表を掲示し、洗濯前に改めて洗濯方法を確認するように周知しています。なお、乾燥につきましては以前より衣服の縮みや損傷の恐れから乾燥機にはかけずに、浴室などでの自然乾燥を実施することで損傷のリスクを回避する対策をおこなっています。

**【苦情】 0件**

【グループホームかたぎはら】

	事故	ヒヤリ	苦情
9月	19件	2件	0件
10月	14件	3件	0件

【事故】 内出血20件 転倒・転落6件 異食1件 負傷2件 物損3件  
離設1件

9、10月度における事故報告件数は計33件でした。抜粋し報告いたします。  
事故報告の半数以上は内出血の報告となっています。また、20件中、約半数が同一の入居者様であり、両前腕や手背などに内出血が出来ている事が多い状況となっています。以前より掻痒感による掻きむしり行為があることから、就寝前のスキンケアの実施や入浴時には敏感肌用のボディソープの使用なども実施しており、経過を見ている状況となっております。また、その他のケースについても要因を検討し、改善策を実施している状況です。

転倒・転落については、ベッドからの転落事故が4件となっています。いずれのケースでも臥床時は低床対応を行っていた為、怪我等には繋がりませんでした。今後も低床対応は継続するとともに、臥床時の定期的な訪室、マットレスによる衝撃緩和などの対策を講じています。

異食については、リハビリパンツの後ろのしるしのテープを口に入れて噛んでおられたケースです。異食リスクがある入居者様であり、以前にも同様の事故が発生していたことから使用時はテープを外すことを改善策として実施していましたが、徹底ができていなかったことが要因となっています。再度の周知徹底を図り、再発防止に努めています。

離設については、フロアで過ごされていたはずのご入居者様の姿が見当たらないことに気づき、館内の捜索をしていたところ、出勤してきた職員と一緒に戻ってこられたことで大事には至りませんでした。山陰街道沿いを歩かれていた事から発見が遅れていれば重大な事故になり得るケースでした。後にフロアのベランダを経由して非常階段から離設をされていたことが発覚しました。普段より自立歩行されている方ではありますが、移動時等の見守り強化、他者対応中であってもフロア全体が確認できるような位置での対応を行うことの周知徹底を図り、再発防止に努めています。

物損については、職員が義歯を取り扱っている際に割れてしまったケース、ズボンポケットに入っていた腕時計を洗濯してしまったことで破損してしまったケースがありました。義歯については、訪問歯科を利用されていたことから歯科医に修理をしていただいています。いずれも職員の注意、確認不足が原因であることから、物品の取り扱いについて注意喚起を行っています。

**【ヒヤリ】物損関連1件 食事関連1件 離設1件 服薬関連3件  
車両関係1件 支援関係 2件**

9、10月度におけるヒヤリハット報告件数は計5件でした。抜粋し報告いたします。  
離設リスクについては、居室窓外側の掃除をしようとして外に出る場所を探して脱衣室に入ってしまったケースです。職員がいた為、説明と窓掃除対応を行いました。脱衣室の隣の洗濯室には非常口があり、職員が居なかった場合は外に出てしまう恐れもあった為、注意喚起を行っています。別のケースでは、ご入居様が1人で他フロアへ移動され、他フロアの職員が発見したケースです。直前に活動の一環で他フロアへ職員と移動していたことや、当日は消防訓練等で業者の出入りが多かった事も要因となっている為、そのような状況下においてはご入居様の様子等について注意深く見守りを行う必要があることの注意喚起を行っています。  
転倒・転落リスクについては、臥床中心に過ごされているご入居様の足がベッドより落ちていたケースや、介助歩行時に何も無いところに座ろうとされたケースなどが挙げられています。前者のケースでは、臥床している際に右側に寄っていつしまう傾向がある為、訪室時には姿勢の確認を行う事や、臥床時には低床対応を行っております。

**【苦情】0件**

(ご意見・ご質問等)

身体拘束適正化委員会

①前回の事例検討後の経過報告を行う

抗精神薬の影響により、一時的に生活機能の低下があったため、現在は服用を中止。少しずつ活気が戻ってきています。9月ごろからは少しずつ食事量も増え、表情や発語も見られるようになり、元気が戻りつつありましたが、元気が出てくると反射的にも、身体介護の際に職員の腕やお腹を思わずつかんでしまうような行動が増えました。

○食事面

10月まではほぼ全量食べておられました。11月に入ってから、目を閉じて過ごすことが増え食事・水分とも摂取量が減っています。

発熱などもあり、居室で生活することが増えました。

○排泄面

現在はベッド上での生活が多くなり、おむつ交換での対応になっています。

以前みられていた職員の腕をつかむような行動は今はまったくありません。

○1日の生活

10月はまだ、フロアで過ごすことが多かったが、現在は入眠・半分眠っているような状態が増え、体力の低下もあるため、ベッドで休む時間が中心となっています。

(ご意見・ご質問等)

入居者の状態も変わり、今回で経過報告は終了でかまわないとの意見をいただいた。

②センサーマットについて

入居者2名について試験的に使用しています。

基本的に、行動を制限するための導入ではなく、入居者の行動を安全に継続するために使用すること、家族にも説明し了解を得ています。

- ・ベッドで身体を起し、床に足を付けたタイミングで反応するので早く気づくことができる
- ・他の入居者の部屋や洗濯室など離れた場所においてもアラーム音がなり、早く気づき転倒予防につながると感じた
- ・今回は限定的な使い方であったが、気づきやすく、一定の効果があった。

(ご意見・ご質問等)

1台購入し、使用すればどうかと意見をいただいた。→購入予定

虐待防止委員会

前回の事例検討後の経過報告を行う

○接触行動について

10月は介助時に職員の腕をつかまれることが時々ありましたが、力は以前より弱く、職員にケガができることはありませんでした。

現在は体力も大きく落ちていることから、そのような行動は見られていません。

その他

地域交流、内部研修等について別紙で説明させて頂いた(別紙参照)

- 1 西京区認知症区民公開講座
- 2 さあ、踊ろう(ハッピーダンス 京都劇場 ステージ発表)
- 3 内部研修:認知症(アルツハイマー・虐待・意思決定支援)
- 4 認知症サポーター養成講座
- 5 京都オレンジ色プロジェクト#2025
- 6 内部研修:食事介助・衛生管理
- 7 チームオレンジ見本市
- 8 地域密着型サービス管理者研修:実践事例報告

7年11月12日 14時～ 延期されていた避難訓練を実施。今回は残念ながら調整できず地域の方々と合同でできなかったが、次回は日程調整し実施したい。

(ご意見・ご質問等)

- ・本来なら、地域の消防団との訓練が望ましいが、消防署も忙しくなかなかないう通りにはいかない
- ・シオンの里も含めてお試し訓練などできないだろうか、またそれぞれの訓練に参加できないか検討してほしい。